

4 コミュニティ・スクールのセカンドステージ

(1) 目標

- ① 学校運営協議会の「質の向上」
- ② 「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体的な推進

(2) 学校運営協議会の充実

【各学校運営協議会の取組】

① 学校教育目標の達成を目指す

PDCAサイクルの構築

- 「熟議・協議」の充実
 - ・協議・熟議の目的や方向性の共通理解
 - ・わかりやすい資料の作成や資料の精選
 - ・事前の資料提供、内容の焦点化・明確化
 - ・委員全員が意見を言える場の設定
- 取組に対する評価・課題改善の工夫
 - ・学校評価やアンケート結果等の客観的なデータ
 - ・取組の成果やさらなる課題改善に向けた協議
 - ・授業参観等における現状把握
- 教職員との連携・交流・意識改革
 - ・支援→協働へとつながる関係づくり、意識改革
 - ・学習活動や合同研修会での交流

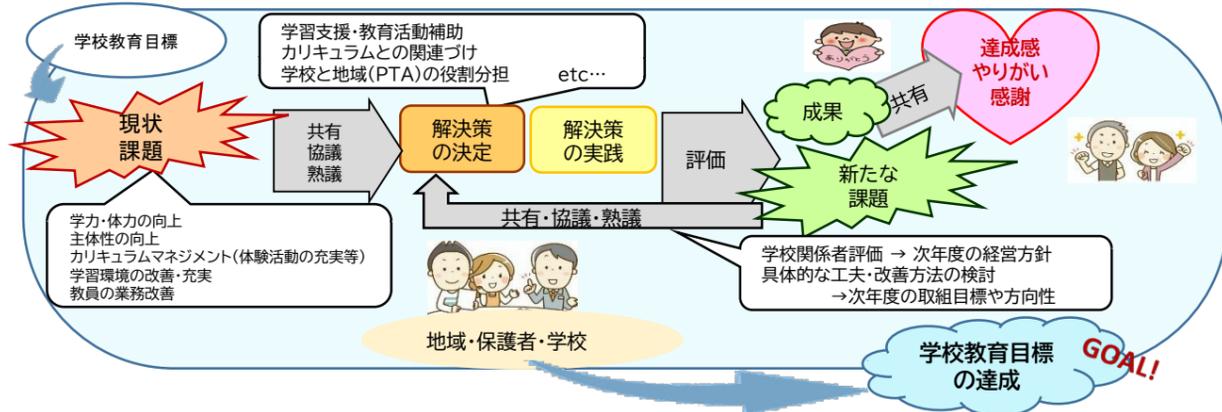
② 委員が「やりがい」を感じられる

協議会への転換

- 「チーム学校」の一員として
 - ・教職員への紹介、学校要覧やHPへの掲載
 - ・教職員への「学校運営協議会」の役割や取組の紹介
- 委員の達成感、自己有用感の醸成
 - ・一人ひとりが活発に思いを語れる協議会
 - ・協議や取組の成果の適切なフィードバック

③ 「地域学校協働活動」との一体的推進

- 地域と学校を繋ぐ体制の構築
 - ・学校運営協議会に「地域学校協働推進員」を配置
 - ・学校支援ボランティアとの効果的な連携



【伊丹市教育委員会の取組】

① 情報交換の場の設定

(情報交換、実践発表)

- ・「推進協議会」(年2回、対象:各会長)
- ・「拡大推進協議会」(年1回、対象:各会長、管理職)
- ・「CSディレクター研修会」(年1回)

② 研修の場の設定(実践発表、講話等)

- ・「コミュニティ・スクール研修会」(年1回)
- ・「コミュニティ・スクールフォーラム」(年1回)

③ アンケートの実施や指導主事の参加等による実態把握及び課題検証

本件問い合わせ先：伊丹市教育委員会事務局学校指導課
 Tel 072-780-3534 Fax 072-784-8083 E-mail gakkyou@itami.ed.jp

コミュニティ・スクールの充実

～学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進～

令和4年(2022年)5月
伊丹市教育委員会

1 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは

「学校運営協議会」を設置している学校

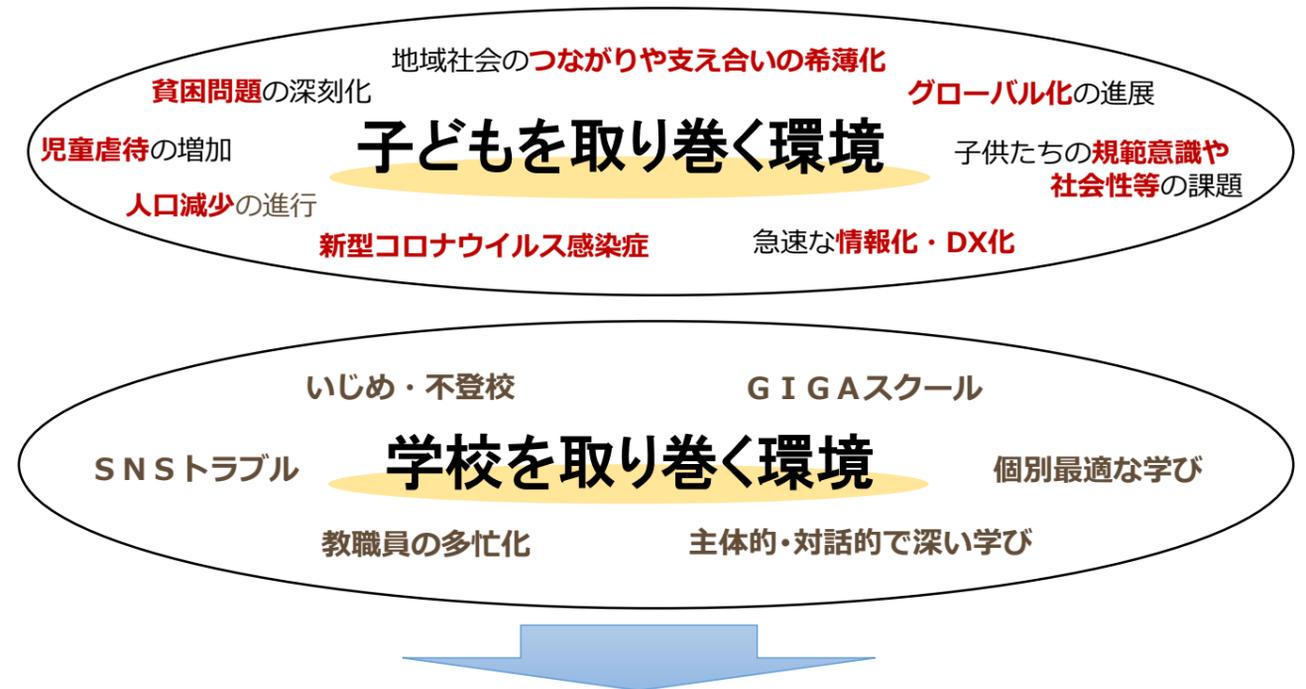
伊丹市：令和2年度に小・中・高等・特別支援学校 全27校に設置を完了

学校運営協議会の4つの機能

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営への必要な支援に関する協議を行うこと
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会で定める事項(※1)について意見を述べるができること

※1 採用・昇任・転任について、個人を特定することはできない

2 なぜコミュニティ・スクールなのか



子どもたちが変化の激しい社会を生き抜く資質・能力を育成するために...

学校と地域が連携・協働して子どもを支える体制が必要

地域とともにある学校づくり

学校を核とした地域づくり

★ 特色ある学校づくり

★ 開かれた教育課程

★ 地域住民の生きがいの創出

3 伊丹市のコミュニティ・スクールの現状

(1)各学校協議会の取組例

<学習支援について>

- ・九九などの学習支援
- ・体験活動への協力
- ・土曜学習の充実
- ・委員による授業参観
- ・学力向上に向けた熟議

<学校生活・生活指導について>

- ・校則・制服の見直し
- ・不登校生への関わり
- ・SNSトラブルなどの協議
- ・清掃活動の補助
- ・健康観察への協力

<教職員との連携・支援>

- ・合同研修会の実施
- ・委員と教職員との意見交流
- ・学校評価を踏まえた協議
- ・教職員の負担軽減
(学習支援・環境整備等)

<学校運営協議会について>

- ・事前アンケートやオンラインを活用した会議の効率化
- ・校長、会長等による事前の打ち合せ(協議テーマを絞る)
- ・資料の精選、事前送付

(2)学校運営協議会アンケートより

- 実施時期 令和3年11月末～12月中旬
- 対象 各学校運営協議会会長(27協議会)、各小・中・高等特別支援学校長(27校)

<成果>

[会長アンケートより]

質問内容	R3		R2	
	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
学校運営や学校運営に必要な支援について十分な熟議ができたと感じているか	83.3%	16.7%	92.3%	7.7%
学校と地域が情報共有ようになった	70.8%	25.0%	76.9%	23.1%
地域学校協働活動に関わる方々と、目指す子ども像等の目標や活動の目的について共有できた。	70.8%	29.2%	65.4%	30.8%
学校運営協議会の取組はやりがいや誇りがある	79.2%	20.8%	73.1%	23.1%
子どもたちの安全・安心な環境がより確保できた	70.8%	29.2%	53.8%	42.3%

[校長アンケートより]

質問内容	R3		R2	
	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
学校運営や学校運営に必要な支援について十分な熟議ができたと感じているか	96.3%	3.7%	96.3%	3.7%
学校と地域が情報共有ようになった	100.0%	0.0%	92.6%	7.4%
地域学校協働活動に関わる方々と、目指す子ども像等の目標や活動の目的について共有できた。	88.9%	11.1%	77.8%	22.2%
学校と地域・保護者の連携した取り組みが行えるようになった	92.6%	7.4%	74.1%	25.9%
学校関係者評価が効果的に行えるようになった	88.9%	11.1%	92.6%	7.4%

<課題>

[会長アンケートより]

質問内容	R3		R2	
	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
学校行事等への地域や保護者の参加が増えた	16.7%	79.2%	26.9%	69.2%
地域が活性化した	29.2%	66.7%	26.9%	69.2%
教職員と話をする機会が増えた	33.3%	66.7%	50.0%	46.2%
学校運営協議会の協議により、地域学校協働活動の人材確保につながった	41.7%	58.3%	34.6%	61.5%
学校や地域の課題について、解決策が見いだせた	37.5%	62.5%	53.8%	42.3%

[校長アンケートより]

質問内容	R3		R2	
	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
学校行事等への地域や保護者の参加が増えた	48.1%	51.9%	51.9%	44.4%
地域が活性化した	55.6%	44.4%	40.7%	59.3%
教職員の意識改革が進んだ	63.0%	37.0%	51.9%	48.1%
学校運営協議会の協議により、地域学校協働活動の人材確保につながった	55.6%	44.4%	66.7%	33.3%
学校運営協議会の協議が、地域学校協働活動の新たな取組や充実につながった	63.0%	37.0%	63.0%	37.0%
生徒指導・生活指導面での課題解決につながった	63.0%	37.0%	63.0%	37.0%

●「課題と感じていること」【自由記述欄より】

<会長アンケートより>

- ① 会議のあり方、進め方
(開催頻度、方法等)
- ② 教職員との交流・連携
- ③ 人材確保、人材育成

その他

- ・情報発信
- ・他の団体や校種間の連携内連携
- ・子どもたちへの支援体制の構築

<校長アンケートより>

- ① 教職員と委員の交流、
協働体制の構築
- ② 協議内容の充実
委員等の人材確保

その他

- ・情報発信 ・日程調整が難しい
- ・教職員の意識改革
- ・校種間連携、ブロック内連携

- ・令和3年度に「熟議・協議」の充実を重点目標とした結果、会長・校長ともに、会議のあり方や協議内容の充実に課題を感じるようになった。
 - ・教職員との交流、連携については、これまでも課題として挙がっている。
- ⇒ **これまでの取組を継続し、さらなる発展を目指す**

(3)伊丹市における「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体的推進

